

第4回日ウズベキスタン共同作業部会

1 概要

- 平成27年10月の安倍総理のウズベキスタン訪問時に、農業・食料分野における協力関係強化のための覚書を締結。当該覚書に基づき、実務的な協議を行う場としての共同作業部会を過去3回実施。

(第1回:平成28年3月タシケント、第2回:平成29年2月東京、第3回:平成30年6月タシケント)

- 令和6年6月、6年ぶりとなる食料・農業分野の官民ミッション派遣にあわせ、6月24日に第4回日ウズベキスタン共同作業部会をタシケントで実施。

- 日本側:水野農水省輸出・国際局長(共同議長)、大使館、JICA、農業・食品関係企業等6社
- ウズベキスタン側:ババハノフ農業省農業開発・イノベーション導入戦略実施局長(共同議長) 他

以下の内容について、ウズベキスタン農業省と議論。

- ① 農業担当省間の対話の再開を歓迎
- ② 6年ぶりのビジネスミッション派遣、「農業・食品産業発展フォーラム」開催を評価
- ③ 日本食材を紹介するレセプションの初開催を歓迎
- ④ 民間企業同士の交流や活動に関する案件の進展を歓迎



- 次回の開催時期・場所については、本部会の根拠となる覚書の期限(令和7年10月)までに、今後の両省間の連携の在り方等を事務的に検討した上で、今後調整。

2 官民ミッション

- 「農業・食品産業発展フォーラム」は、会場100名以上、オンライン60名弱が参加、投資産業貿易省副大臣等が来賓で挨拶、参加各社の取組や、ウズベキスタンの農林水産業等の現状について講演。
- 「日本食材を用いたレセプション」では、日本米、和牛、抹茶、エビ等の試食、企業間ビジネスマッチングを実施。

